

## 1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、当座預金残高が30兆円を下回る水準で推移したものの、金利入札オペの実施などで資金偏在がなされてきたことから、ONレートは低位安定で推移する日が多かった。30日は、月末が近付いたことや国庫短期証券の発行もあったことから朝方0.08%で立ち上がり、一部で0.085%での調達も見られた。一巡後は閑散な状況で推移した。月末となる31日は、すでに調達に目途つけた先も多く、朝方0.07~0.075%で立ち上がり、軟調な展開となった。1日以降は、朝方0.07~0.075%で立ち上がり、一巡後は0.06~0.07%近辺の出合いで推移した。週末となる3日も地合いは変わらず、朝方0.07~0.075%で立ち上がり、一巡後は閑散な出合いで推移した。金利入札方式の共通担保資金供給オペは3月期日が0.10%の結果となった。資産買入等基金の共通担保資金供給オペは、6Mが1本、3Mが2本オファーされ、応札額は6Mが9,020億円、3Mが11,275億円、11,105億円、按分率は6Mが88.7%、3Mが71.0%、72.1%の結果となった。資金余剰感から応札額は減少傾向となった。31日に米ドル資金供給オペが1W物で1本オファーされ、結果は15億7,200万ドルの落札となった。

今週も資金余剰感が強く、ONレートは低位安定で推移するものと思われる。

## 2. オープン市場

先週の短国市場は、アウトライト市場は年初から続いていた期内物への買いが一服し、加熱感がやや和らいでおり散発的な出合いが見られた程度にとどまった。1日に実施された3M物の入札はWI取引では0.10%が出合い、売りが残ったものの、足元金利の低下などもあったためか、平均落札利回0.1007%、最高落札利回0.1023%、按分比率2.7119%と底堅い運用ニーズが見られる結果となった。事前予想よりも按分が薄めであったことからセカンダリーでは0.098%まで買い進まれた。現状の気配は3~6Mが0.0975~0.1025%、1Yが0.095~0.105%と0.10%を挟んでの気配となっている。

CP市場は月末案件が一巡し閑散としており、総額で5,500億円程度の出合い。件数も少ない中、鉄鋼や電機、石油の大型発行が散見される程度であった。発行レートは週を通して概ね横ばい圏の動き。残高が増加しているものの、現先市場やセカンダリー市場のショートタームでの運用ニーズが強く、動意の乏しい展開。a-1格の事業法人銘柄では、発行残高や業態によりレート水準に多少バラつきがある状況で、全般的には1W~3M物は0.11%台の前半で推移。電機、石油では0.12%台の前半の出合い。連日の日本企業の大赤字発表により、ディーラー、投資家共にやや慎重な姿勢も見られ始めている。a-1+格銘柄のショートターム物は投資家の需要が底堅く、0.10%台後半~0.11%台前半と堅調な展開であった。

今週は7日に6M物、8日に3M物、10日に2M物と入札ラッシュとなるが、いずれも概ね順調な入札が予想される。CP発行は足元金利が底ばい圏で推移していることもあり、引続き動意の乏しい展開が予想される。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で4,200億円程度の還収超見通し。財政資金は、7日の10Y発行を中心に3兆3,300億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆9,100億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<6日>TB3M;償還51,000億円・発行60,000億円 <7日>10Y;発行22,000億円 <9日>交付税特会借入;期日・新規10,500億円 <10日>TB6M;償還35,000億円・発行35,000億円/流動性供給;発行3,000億円

2012年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
2/6 (月)	2,200	△ 10,300	△ 8,100	CP買入(基)	△ 400		△ 400	△ 8,500
2/7 (火)	1,000	△ 23,000	△ 22,000	全店共通 共通基金		8,000	8,000	△ 14,000
2/8 (水)	1,000	1,000	2,000	国債買入		5,600	5,600	7,600
2/9 (木)	0	1,000	1,000	共通基金	△ 8,000		△ 8,000	△ 7,000
2/10 (金)	0	△ 2,000	△ 2,000				0	△ 2,000
週間合計	4,200	△ 33,300	△ 29,100		△ 16,400	21,600	5,200	△ 23,900

(注) 上表の2/6は日銀予想、2/7以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
2/6 (月)			
2/7 (火)	1月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 12月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB6M 35,000億円 2/10発行	流動性供給 3,000億円 2/10発行 12月の米消費者信用残高
2/8 (水)	OECD・アジア開発銀行研究所共催 東京ラウンドテーブル にて日銀西村副総裁講演 12月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 12月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 1月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	TB3M 60,000億円 2/13発行	交付税借入 10,500億円 2/16借入 英中銀金融政策委員会(1日目)
2/9 (木)	12月の機械受注統計(内閣府 8:50) 1月のマネーストック(日銀 8:50) 1月の消費動向調査(月次、内閣府 14:00)	40Y 4,000億円 2/14発行	ECB定例理事会 英中銀金融政策委員会(2日目) 12月の米卸売売上高
2/10 (金)	1月の企業物価指数(日銀 8:50)	TB2M 25,000億円 2/15発行	エネルギー 対策借入 3,000億円 2/20借入 12月の米貿易収支 1月の米財政収支

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。